



ぐんぐん

立山北部小学校

1年 学年だより

令和5年度 No.7

♪♪♪ がんばったよ 学習発表表 ♪♪♪

学習発表「できるようになったよ2023あき〜くじらぐもにのって〜」での目標は、台詞や歌、合奏、姿勢等、できるようになったことやがんばっていることを『伝える』ことでした。この目標に向かって学校はもちろん、家でも練習に取り組んでくる子供たちがたくさんいました。

全体を通してできるようになった頃、ビデオに撮って自分たちの仕上がり具合を確認しました。すると、子供たちは、自分たちが思っているよりも声が届いていないことに驚きました。体育館での発表ということで、もっと声を出さなければいけないということに気付いたのです。また、慣れてきたことで、早口になったり、台詞と台詞の間がしっかり取れていなかったりしていることにも気付きました。そこで、『伝える』ためにどうすればよいか、もう一度、みんなで確認をしました。自分たちの姿を客観的に見ることで、『伝える』ということをさらに意識して、「まだまだ」「口が開いていないよ」「しっかり前を向いて」等、互いにアドバイスをしながら練習に取り組みました。

そして、学習発表前日、今までの練習で一番良かったことを喜び合っていたとき、当日の天気は雨風がひどいということが分かりました。すると、Aさんが「大丈夫、雨や風に負けない声を出すから」と言いました。Aさんの力強い言葉に他の子供たちも「雨や風に負けないぞ」とロ々に言い、みんな「練習してきたことを伝えよう」という気持ちをしっかりもって本番を迎えました。

発表を終えて教室に戻ると、大きな仕事を終えて満足したという表情の子供たちでいっぱいでした。振り返りで、Bさんが「ぼく、どうだったかな？」

とつぶやきました。すると、Cさんが「今までで一番よかったよ。はっきり声が聞こえたから『ともだちだんけつコール』が言いやすかったよ」その言葉にBさんもにっこり。これまで、みんなでがんばってきたからこそ、互いのがんばりを認め合うことができたのだと思います。

みんなで目標に向かって取り組んできたこの過程こそが、子供たちをまた一回り大きく成長させたのだと感じました。



おすすめの家庭学習



国語	読書	日本や外国の昔話を読む。
	漢字、片仮名の練習	繰り返し練習することで定着を図る。(学級では、とめ、はね、はらい、筆順に留意して練習しています)
算数	計算カード	できるようになってきたら、4種類すべてのカードを混ぜてやってみる。正確さが一番、スピードが二番。まずは間違えずにできるように練習する。
	さくらんぼ計算	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り上がりのあるたし算、繰り下がりのあるひき算、両方のさくらんぼ計算のやり方を身に付ける。 ・繰り下がりのあるひき算では、まず10から引くことを大切にしていますが、バラから引きやすい数の時には、どちらがいいか考えて計算する。

「よさ」を広げていこう

給食後の片付けの時間。Dさんのさりげない行動がとても素敵でした。

給食後の片付けでは、それぞれが自分のテーブルを拭き、床に落ちている食べ物がいないかを確認した後、椅子をテーブルの上に上げています。台ふきんは、グループごとに使い、最後に使った人が片付けます。その日、Dさんは、グループで最後でした。Dさんは、自分の片付けを終えたのに、ランチルームを出て行きませんでした。どうしたのかと様子を見てみると、Dさんのグループではないテーブルの上に台ふきんが忘れられていました。椅子も上がっていません。(給食後の昼休みを楽しみにしている子も多く、慌てていて忘れたのでしょうか) Dさんは、忘れられた台ふきんを片付け、椅子も上げて帰りました。自分のグループでもなく、頼まれたわけでもありませんが、「片付けたらいいな」と自分で考えて行動したことにとっても感心しました。そこで、みんなにも「素敵な行動だったね」とDさんのよさを伝えました。このDさんの姿を子供たちはどのように感じたでしょう。

別の日の給食の後片付けの時間。忘れられた台ふきんがありました。すると、Eさんが、「(自分の台ふきんと)一緒に片付けます」と進んで片付けてくれました。また、Fさんは、欠席した6年生の椅子もテーブルの上に上げてくれました。Dさんのよさが、他の子供たちに広がったように感じました。

一人一人の「よさ」がたくさん広がっていくよう、これからもよい姿を大切にしていきたいと思います。

文章題をとく力

算数の学習の中で「文章題をとくこと」は頭の痛いところです。4月から今までの算数の学習やテストの様子等を見ても、自分の力で文章題をとくことが苦手な子が多いと感じます。文章題をとく手順として、次の3つが考えられます。

- ① 1つ1つの言葉の意味が分かる
- ② 文章題のキーワードをつかむ
- ③ 文章題のとき方を考える

①～③のどれも難しいことなのですが、生活の中で行われることを言葉に表してみる機会を増やしてみてもどうかと思います。

◆いちごを食べると数が減る。→だから、これはひき算！

◆2つの皿にいちごが4つと2つ。全部でいちごはいくつ。→こちらはたし算！

このようにみていくと、生活の中で学べることはたくさんあります。生活は生活、勉強は勉強と分けるのではなく、生活の中で勉強していくことを心がけていくことも大切ではないかと思っています。

やっぱり大事ないくつといくつ

10月～11月は、学習の山場と言える繰り上がり、繰り下がり計算の学習をしています。

5月頃から「いくつといくつ」の学習をしてきましたが、ここにきて、その大切さが分かってきた子供たちです。すらすら計算するためには、数の構成をとっさに捉えることが大切なのです。お風呂に入ったときや、買い物に出かけたとき等に「10は3と…」とクイズのように、問題を出していただくなどして、楽しみながら、取り組んでみてはいかがでしょうか。

$$\begin{array}{r} 9 \\ +4 \\ \hline 13 \end{array}$$

→ ① 10にするにはいくつ必要か。(1と分かる)
→ ② 4を1と3に分ける。
→ ③ 9と1で10。
→ ④ 10と残りの3で13。

$$\begin{array}{r} 13 \\ -9 \\ \hline 4 \end{array}$$

→ (3から9は引けないことが分かる。
→ ① 13を10と3に分ける。
→ ② 10から9を引いて1。
→ ③ 1と3で4。

<体育服について>

・これから寒くなるので、必要に応じて体育服の長袖・長ズボンや上着を持たせてください。また、タイツをはいている場合は脱いで体育服に着替えますので、靴下を持たせてください。

<冬季の服装について>

・寒暖の差が大きくなっています。寒くなると、手先が隠れるような袖丈の長い服を着ている子供をよく見かけます。袖丈の長い服では、給食の配膳や掃除等の作業をしたり、字を書いたりする妨げになります。また、急なときに手が出ていないと自分の体を支えることができず、危険です。気候や学習の場にふさわしい服装で登校させてください。

・寒くなってきたためか、ポケットに手を入れて登校する姿を目にします。ポケットに手を入れていると、転んだ際に手をつくことができず危険です。寒い時は手袋を使うように声かけをお願いします。また、手袋やコート、ジャンパーには記名をお願いします。

<学習用具の確認を>

・子供たちには、鉛筆は自分で毎日削って、とがったものを持ってくるように伝えていきます。短すぎる鉛筆は、きちんと持つことができないため、持ってこないようにしてください。また、下敷きも忘れずに持たせてください。